
平成20年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成20年3月5日

質問者（質問順）

- 1 山田桂一郎 委員（民ヨコ）
- 2 太田正孝 委員（無所ク）
- 3 中島文雄 委員（共産党）
- 4 黒川勝 委員（自民党）
- 5 渋谷健 委員（自民党）
- 6 中島憲五 委員（民主党）
- 7 石井睦美 委員（公明党）

港湾局

局 別 審 査

1 山田 桂一郎 委員（民ヨコ）

1 横浜港の港勢について

- (1) 平成19年のコンテナ貨物の取扱個数はどうなのか。また、目標として掲げられている340万個は達成できる見込みなのか。
- (2) 国内主要港のコンテナ貨物の取扱状況はどうか。
- (3) 横浜港の輸出入別のコンテナ貨物の主要相手国はどこなのか。また、どのような品目の貨物が取り扱われているのか。
- (4) 輸出貨物の拡大に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

2 グリーン物流・環境への取組について

- (1) ふ頭内の道路等におけるゴミの投げ捨て等の環境対策についてどのように取り組んでいるのか。
- (2) 地球温暖化対策の推進としてどのような取組を行っているのか。
- (3) これらの輸送手段により、どの程度のCO₂削減が見込まれるのか。
- (4) 海上コンテナ貨物の鉄道輸送における現状での課題は何か。また、その対策について伺いたい。
- (5) 港湾においてもCO₂-DO₃₀を推進し、地球温暖化対策に取り組む必要があると思うがどのように考えているのか。

3 スーパー中樞港湾の取組について

- (1) 東アジアのハブ港を目指す横浜港の課題は何か。
- (2) 国際競争力強化に向けた、ソフト面での取組について伺いたい。
- (3) 東京港や川崎港との連携についてどのように取り組んでいるのか。
- (4) 東アジア主要港の取組を研究し、参考とすべきと思うがどうか。

4 南本牧ふ頭の整備について

- (1) MC-3岸壁は世界最大級で我が国初の水深20mの耐震強化岸壁になると聞いているが、それが整備されることの意義を改めて伺いたい。
- (2) MC-3コンテナターミナルは国と本市がどのような役割分担で整備を進めるのか、また、その事業費とその内訳、並びに国と本市の投資額について伺いたい。
- (3) ふ頭用地の造成では短期間に集中して工事を行うようですが、どのように進めるのか。
- (4) 南本牧ふ頭の整備を今後どのように進めていくのか。

2 太田 正孝 委員（無所ク）

1 神奈川区栄町の港湾局所管の土地について

- (1) 神奈川区栄町の土地を「中田宏と獅子の会」の会長に、どうして150円／ m^2 という安い金額で貸しているのか。
- (2) ふ頭用地でない土地をふ頭用地の料金を適用して貸し、借主は又貸ししたたうえで、工作物を建築している。どうしてこんな工作物を許しているのか。
- (3) この土地はだれかに頼まれて安く貸しているのか。

2 メール問題について

- (1) 再就職を依頼するメール事件が新聞報道されたが、どういうメールを打ったのかここで発表してほしい。
- (2) メールは自分で作成して打ったのか。それともだれかに頼まれて打つように言われたのか。
- (3) メールの内容は知らないことだったのではないのか、それとも全部自分がやったことなのか。
- (4) 神奈川臨海鉄道という民間会社の副社長人事について、港湾局副局長が差配する権限があるのか。
- (5) 神奈川臨海鉄道の副社長は「退職を強要された。」と言っているが間違いないか。
- (6) 新聞報道によると、「局長が神奈川臨海鉄道の副社長につきたがっている。」との報告を副市長は副局長から受けたと書いてあるが、新聞社が嘘をついているのか。
- (7) 副局長は何も知らないでどうして総務課長に打電するように伝えることができるのか。自分で勝手に想像したのか、それとも捏造したのか。
- (8) 再就職を課長に命じて、いわゆる調整するという行為はしてはいけないのではないか。民間の副社長人事に何で副局長が介入できるのか。
- (9) 神奈川臨海鉄道と市はどのような関係なのか。

- (10) 港湾局は神奈川臨海鉄道と業務上関係があるため、副社長人事権を横浜市にあげているのではないか。
- (11) 港湾局に対する影響力を期待して神奈川臨海鉄道は副社長人事を横浜市に任せているから、副社長人事を横浜市に任したということではないのか。
- (12) 株式を出資しているということと、出資しているからOBを派遣するということは別問題なのではないか。今後、メール問題が起こらないようにどのようにするつもりなのか。

3 ベイサイドマリーナ2期地区整備について

- (1) ベイサイドマリーナ地区にリゾート施設を誘致するため、市の分譲地を有限会社ベイサイドリゾートに売り渡したが、今年の12月までに建物が完成して、供用を開始するという条件だったのに、今日まで着工していないが、どうなっているのか。
- (2) 有限会社横浜ベイサイドリゾートの株主の構成、役員の構成は怎么样了のか。
- (3) 業者の選定自体に大きな問題があったと思うが、このまま推移すれば計画は頓挫して、市が莫大な損害を受けるか、市民に大きなしわ寄せがくると思われるがどうか。

4 南本牧ふ頭前面海域におけるケミカルタンカーの沖荷役について

- (1) 南本牧のコンテナヤードの入口に船舶が油の積み替えをするエリアがある。事故が起きたら横浜港が全滅になる危険な場所にどうして油の積み替え施設があるのか。
- (意見) 横浜港の入口で油の積み替えを行うのは非常に危険なので、新しい施設を作ることを検討してほしい。

1 港湾整備事業について

- (1) MC-3 コンテナターミナル整備の本格化に伴い2008年度（平成20年度）の予算規模が大幅に伸びているが、改めて整備計画の概要と事業費、供用開始時期について伺いたい。
- (2) 埋立期間と埋立に必要な土量はどの程度か。
- (3) 埋立に必要な土砂の確保については、どういう事業の土砂をどの程度見込んでいるのか。
- (4) 横浜環状北線の工事が予定どおり進まないと、建設発生土が確保できず、MC-3の建設に支障をきたすのではないのか。
- (5) MC-3の整備目的がコンテナ取扱量の増加等に伴うものということだが、高速道路等の大型公共事業推進のための受け皿という指摘に対してどう答えるのか。
- (6) 今回、南本牧ふ頭用地造成事業を特別会計で経理することになったが、何故特別会計にしたのか。
- (7) 今後、スーパー中樞港湾の計画等によりふくれる予算を2会計に分けて小さく見せる関係もあるのではないか。

2 埋立事業会計の健全化について

- (1) 2008年度（平成20年度）の埋立事業会計の支出が14.9%増の525億円と大きく伸びているがこの理由は何か。
- (2) 埋立事業会計健全化に向けた第1次中期財政プランの総括と第2次中期財政プランの見通しはどうか。
- (3) 2004年（平成16年）の一般会計からどのくらい支援を行ったのか。
- (4) 約600億円の収支不足をもっと減らすための努力として、どのような取組を行うのか。

(5) 街づくり等にも配慮しながら、例えば条件付一般競争入札など土地を少しでも高く売却して、減らす努力をするべきだがどうか。

4 黒川 勝 委員（自民党）

1 スーパー中樞港湾の推進について

- (1) スーパー中樞港湾としての横浜港のこれまでの取組を、改めて伺いたい。
- (2) 本牧ふ頭BCコンテナターミナルの取扱量の推移について伺いたい。
- (3) スーパー中樞港湾としての取組の方向性について伺いたい。

2 南本牧ふ頭高規格コンテナターミナルについて

- (1) MC-1・2コンテナターミナルにおいて、平成19年のコンテナ貨物取扱個数が100万個を突破したことについての見解を伺いたい。
- (2) ガントリークレーンの増設による効果は何か。
- (3) MC-3コンテナターミナルの供用までの整備スケジュールについて伺いたい。
- (4) MC-3コンテナターミナルの平成19年度の整備状況はどうか。また、20年度は、どのような整備を行うのか。
- (5) 厳しい財政状況の中で、MC-3コンテナターミナルを1日も早く供用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 本牧ふ頭の再整備について

- (1) 横浜港のコンテナ物流の拠点として、本牧ふ頭をどのように位置付けているのか。
- (2) そのような課題に対して平成20年度はどのような事業を進めていくのか。
- (3) 本牧ふ頭は今後どのような機能強化を進めていくのか。

4 本牧臨港道路の整備について

- (1) 本牧側出口の増設に関する総事業費と工事の完成時期について伺いたい。
- (2) 平成19年度の整備内容について伺いたい。
- (3) 平成20年度の工事内容と工事費について伺いたい。

(4) 出口の増設整備が完了した後、次にどのような道路整備を進めていくのか。

5 象の鼻地区の再整備について

(1) 民間倉庫はいつ撤去されるのか、また、日本大通りから海への見通しが確保されることの意義を改めて伺いたい。

(2) 平成20年度予算で実施する具体的な事業内容は何か。

(3) 大さん橋基部については、開港150周年以降も引き続き整備していくべきと考えるがどうか。

(4) 開港150周年を記念したにぎわい空間の創出に向け、象の鼻地区で計画しているものは何か。

6 「海フェスタ」の誘致について

(1) 「海フェスタ」とはどのようなものか。

(2) 具体的にはどのようなことを行うのか。

(3) 「海フェスタ」を誘致する意義は何か。

(4) 今後の誘致活動についてどのように取り組んでいくのか。

7 みなとみらい21地区の土地処分について

(1) 平成19年度のみなとみらい21地区での処分状況について、街区ごとの事業者と開発内容はどうか。

(2) 平成19年度の公募における審査の視点はどのようなものか。

(3) 今後の公募予定街区と開発の方向性をどう考えているのか。

(要望) MM21地区へ地元企業が進出しやすい環境づくりに向けた検討をお願いしたい。

8 南本牧ふ頭第5ブロック処分場の整備について

(1) 第5ブロックに廃棄物処分場を整備することに関し、港湾局の考え方は何か。

(2) この廃棄物処分場はどのように整備していくのか。

- (3) この廃棄物処分場の構造的な特徴を伺いたい。
- (4) 処分場供用後の、遮水護岸背後の埋立はどのように行うのか。
- (5) 工事期間中は、どのような環境対策が行われるのか。

9 港湾施設の維持管理について

- (1) スtockマネジメント推進事業の内容と、平成20年度の取組について伺いたい。
- (2) 港湾局が管理する道路橋はいくつあり、建設後の年数はどのくらい経過しているのか。
- (3) 港湾施設橋りょう長寿命化事業の目的は何か。
- (4) 平成20年度はどのようなことに取り組むのか。
- (5) 今後の港湾施設の維持管理に向けた課題は何か。

10 客船誘致について

- (1) 開港150周年に向けて、どのような外国客船が寄港する予定となっているのか。
- (2) 「クイーン・メリー2」の受入にあたり、どのような歓迎イベントを開催するのか。また、市民が見学できる機会はあるのか。
- (3) 外国客船の誘致に向けて、どのように取り組んでいるのか。また、どのくらいの外国客船を誘致できると考えているのか。

11 横浜港の魅力づくりについて

- (1) ベイサイドマリーナのビジター棧橋の過去3年間の利用実績について伺いたい。
- (2) ベイサイドマリーナでは、過去どの程度の大きさのビジター艇を受け入れた実績があるのか。
- (3) ビジター艇の受入れに関する船体の大きさの基準と、それを超える船舶の希望があった場合の対応はどのようにしているのか。

- (4) 横浜港の適正な水域利用方針の中では、内港地区における水域利用の方針をどのように定めているのか。
- (5) 内港地区における大型のビジター艇の受入れに関する現状と課題はどのようなものか。
- (要望) さらに大型のビジター艇の受入れについて検討をお願いしたい。
- (6) 内港地区の魅力づくりとして、平成20年度にはどのような取組を進めているのか。

1 横浜港の物流機能強化について

- (1) 我が国港湾、特に、東京湾、大阪湾、そして伊勢湾の3大湾におけるコンテナ取扱の状況は、どのように推移しているのか。
 - (2) 横浜港のコンテナ貨物取扱が順調な理由をどのように分析しているのか。
 - (3) 横浜港を日本の国際ハブポートとして発展させるためには、どのような視点が重要と考えているか。
 - (4) 横浜港に貨物を集中させるためには、どのような取組を進めていく必要があるのか。
 - (5) 南本牧ふ頭の物流機能を高めていく上で、新たなランプウェイを含めた首都高速湾岸線との連絡強化は、大変効果が大きいと思うが、その必要性について、どのように考えるのか。
 - (6) 港湾物流を強化する上で、どのような道路ネットワークが重要と考えているのか。
 - (7) 国道357号は、具体的にどういった点で、重要なのか。その必要性や役割について伺いたい。
 - (8) 横浜港の国際競争力を強化するためには、東京湾に位置する港湾の連携を強めていくことが必要である。さらに将来的には、一体的な管理、運営も検討すべきではないかと思うがどうか。
- (要望) 日本の港湾の今後を展望すると、まさに崖っぷちにある。横浜港は、本市のみならず我が国経済の発展、市民生活の向上に密接な関係があることを改めて認識し、大胆な施策展開を行っていただきたい。

1 平成20年度予算案の編成について

- (1) 平成20年度予算案を編成するにあたっての、局長の港湾局にかけてきた想いを伺いたい。

2 横浜港シンボルタワーについて

- (1) 横浜港シンボルタワーの指定管理者制度導入後の利用状況は、どのように推移しているのか。
- (2) 利用者サービスや集客力の向上に向けて、これまで、どのような取組を行ってきたのか。
- (3) 指定管理者制度導入の効果をどのように評価しているのか。
- (4) 集客力をさらに高めるため、今後、指定管理者と連携してどのような取組を進めていくのか。

3 インナーハーバーの魅力づくりについて

- (1) 平成20年度予算において、赤レンガ倉庫、象の鼻地区に重点投資していくことについて、その考え方は何か。
- (2) 象の鼻地区再整備のセールスポイントは何か。
- (3) 前面水域の利用をどのように考えているのか。
- (4) 象の鼻地区再整備後の管理運営については、どのように考えているのか。
(意見) 見せる海だけでなく、触れる海にしてみたい。
- (5) 大さん橋国際客船ターミナルの市民利用の状況はどうか。
- (6) 客船ターミナルとしての内外の評価はどうか。
- (7) 国際客船ターミナルの経済効果をどのように評価しているのか。
(意見) 是非とも、横浜のシンボルとして利用者に親しまれる施設としてもらいたい。

4 南本牧ふ頭第5ブロック処分場整備について

- (1) 開設時期及び廃棄物処分場としての利用予定期間を確認したい。
- (2) 廃棄物処分場の建設に要する概算事業費及び整備手法について伺いたい。
- (3) 資源循環局との役割分担はどのようになっているのか。
- (4) 地震に対する安全性は十分確保されているのか。
- (5) 相当期間、港湾としての土地利用ができないと思うが、用地不足等にどのように対応していくのか。

5 埋立事業会計の健全化について

- (1) これまでの埋立事業会計による事業の効果について、どのように考えているのか。
- (2) 平成20年度末の、土地処分等で償還する企業債残高、未処分土地の面積及び保有資金の見通しについて確認したい。
- (3) 第2次中期財政プランにおける埋立事業会計の収支見通しを確認したい。一般会計の負担を的確に行っていただくとともに、処分場整備にあたって今後も国費を確保していくことが必要であるが、考えを伺いたい。
- (4) 南本牧ふ頭第5ブロック処分場の整備が埋立事業会計に影響を及ぼさないように一般会計の負担を的確に行っていただくとともに、処分場整備にあたって今後も国費を確保していくことが必要であるが、考えを伺いたい。

6 ナビオス横浜・エスカル横浜について

- (1) 包括外部監査の結果を受けて、どのように改善したのか。
 - (2) 改善策の考え方について確認したい。
 - (3) 過年度分についてはどのように考えるのか。
 - (4) 港湾福利厚生施設に対する横浜市の責任を、どのように認識しているのか。
 - (5) 船員、港湾関係者等の利用促進に向けて、どのような対応を図っていくのか。
- (意見) 監査の指摘については、しっかりやってもらい、今後も厚生施設の維持管理を充実してもらいたい。

7 横浜港の管理運営について

- (1) 横浜港の港湾区域に係留しているプレジャーボートは何隻いるのか。このうち、放置されているボートは何隻いるのか。また、船舶の放置防止に関する条例施行前と比べるとどのような状況なのか。
 - (2) 以前に比べて相当数減少しているが、今後、さらに改善するためにはどのような対応が必要と考えているのか。
 - (3) 物流の機能とプレジャーボートが競合しないような対策が必要だと思うかどうか。
 - (4) 大黒ふ頭では、路上駐車が多い実態が目についたが、このような状況となっている原因は何か。
 - (5) 具体的な対応策をどのように進めていくのか。
- (意見) 路上駐車対策については、環境に配慮しながら、積極的に取り組んでほしい。

1 横浜港の海難事故防止のための安全対策について

- (1) 横浜港周辺での海難事故の件数はどうなっているのか。
- (2) 衝突事故を起こしている船舶の種類と件数はどのようなになっているのか。
- (3) 衝突事故はどのような原因で起きているのか。
- (4) 横浜港では、安全対策としてどのようなことを行っているのか。

2 土地の有効活用と山下ふ頭の機能について

- (1) 5年前と比較して、公共バースの取扱貨物量の変化と臨港地区の商港区の面積の変化はどのようなになっているか。
- (2) 土地の有効利用、高度化が求められると思うが、横浜港における現状と今後の対応はどうか。
- (3) 山下ふ頭の荷さばき地、上屋の利用状況はどうなっているか。
- (4) ナショナルパーク構想を含めた、山下ふ頭の利用計画見直しの基本的な考え方を伺いたい。

3 埋立会計の健全化について

- (1) みなとみらい21地区の最近の地価動向は、どのようなになっているのか。
- (2) 19年度の事業予定者決定の際に、事業者側からどういう思いがあり、どういう期待を寄せていたのか、どういう声があったのか、を含めて伺いたい。
- (3) 今後、土地需要の動向については、どのようなになっていく見通しと考えているのか。
- (4) 土地の早期売却とまちづくりを両立しながら、どのようにみなとみらい地区の土地処分へ取り組んでいくのか。

4 横浜港の水質改善について

- (1) 横浜港の水質の現状について、どのような状況にあるのか。

(2) 20年度の水質改善の取組はどのような内容か。

(意見) トライアスロン開催にあたっては、くれぐれも参加者の健康被害にならないようお願いしたい。